

2012/04/01(日)10:09

科目名	情報処理B	学年	1
サブタイトル		単位	1
教員名	太田 信宏	メールアドレス	ohtan@shonan.bunkyo.ac.jp
授業概要	現代社会にあふれている膨大な情報を有効活用するためには、データを適切に処理していく能力が求められる。この授業の目的は、データの整理・加工・分析方法の習得である。具体的な学習内容は、表計算ソフトによるデータ表現、情報を主体的に入手するためのアンケート調査とその解析方法、処理したデータを効果的に表現するための技法などである。授業は表計算ソフトおよびデータベースソフトを利用した演習形式で行う。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・授業オリエンテーション、表計算ソフトの基本操作、計算式の活用 ・関数の利用1(合計、平均、最大、最小)、数式のコピーと参照 ・関数の利用2(件数、順位)、表の書式設定 ・関数の利用3(検索と条件の指定) ・グラフ表現1(棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフ他) ・グラフ表現2(3Dグラフ、複合グラフ他) ・複数ワークシートの処理、グループ化と3D集計 ・ピボットテーブルによるデータの検索と加工 ・アンケート調査と集計 ・データベース機能(並べ替え、抽出、集計等) ・データベースソフトの活用と基本知識 ・データベースの定義とテーブルの作成 ・クエリの操作(検索、抽出、加工) ・フォームの利用とテーブルの関係 ・レポート作成機能 ・授業のまとめと授業アンケート 		
評価方法	評価の割合は、定期試験45%、授業中の課題45%、出席等の平常点10%として100点換算する。定期試験はPCによる実技試験を行う。		
評価基準	定期試験(実技試験)では、表計算ソフトの基本技能および実践的な活用能力をみる試験を行う。授業中の課題については、各提出物を期限内提出点50%、内容点50%として評価する。内容点とは、成果物の完成度・内容・分量・センスの総合点である。すべての評価項目を100点換算した点数で90点以上をAA、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、59点以下をDとする。		
テキスト	資料を配付する。		
参考書	使用しない。		
受講者へのメッセージ	この授業の目的は情報の整理・加工・分析です。表計算ソフトやデータベースソフトを活用して、情報を有効活用する方法を身につけてください。		